

会議の概要(議事録)

会 議 の 名 称	(番号) 3-16	墨田区交通安全対策協議会
開 催 日 時	令和8年8月21日(金) 午前10時00分から午前11時00分まで	
開 催 場 所	区役所 131会議室	
出 席 者 数	【会長】山本 亨(墨田区長) 【委員】(出席25名) 高橋 正利 (墨田区議会副議長) ※ 須山 浩道 (警視庁本所警察署長) 村島 修平 (警視庁向島警察署長) 三浦 弘直 (東京消防庁本所消防署長) 柳田 博 (東京消防庁向島消防署警防課長) ※ 皆川 智子 (国土交通省東京国道事務所交通対策課特殊車両係長) ※ 塚田 晃平 (東京都第五建設事務所長) 田中 康裕 (本所交通安全協会会長) 福原 由香 (向島交通安全協会事務局長) ※ 星野 喜生 (墨田区老人クラブ連合会会長) 中嶋 保徳 (墨田区立小学校長会会長) 吉岡 大司 (墨田区立中学校長会会長) 高橋 誠二 (墨田区立小学校 PTA 協議会会長) 黒木 為則 (墨田区立中学校 PTA 連合会会長) 須藤 正 (墨田区町会・自治会連合会会長) 大坂 勝 (京成バス東京株式会社奥戸営業所総括) ※ 宮崎 鉄也 (東日本旅客鉄道株式会社東京事業本部錦糸町駅副駅長) ※ 百瀬 幸次 (京成電鉄株式会社押上駅長) 土橋 秀規 (副区長) 塩澤 満 (教育委員会事務局庶務課長) ※ 浮田 康宏 (地域力支援部長) 中山 誠 (福祉部長) 高橋 義之 (子ども・子育て支援部長) 大竹 恵介 (都市計画部危機管理担当部長) 天海 晴彦 (都市整備部長) ※は代理出席 山田 昇 (墨田区商店街連合会会長) <<欠席>> 齋藤 博明 (東武鉄道株式会社とうきょうスカイツリー駅長) <<欠席>> 【立会出席】 警視庁本所警察署交通課長、警視庁向島警察署交通課長 墨田区教育委員会事務局庶務課 企画・法規担当主査 【事務局】 土木管理課長、交通安全担当主査(1名)、交通安全担当主事(2名)	

会議の公開 (傍聴)	公開(傍聴できる) 部分公開(部分傍聴できる) 非公開(傍聴できない)	傍聴者数	0人
議 題 等	1 令和8年秋の墨田区交通安全運動実施要領(案)について 2 令和8年秋の墨田区交通安全運動実施計画(案)について 3 交通安全対策全般について		
配 付 資 料	1 会議次第 2 墨田区交通安全対策協議会委員名簿 3 席次表 4 令和8年秋の墨田区交通安全運動実施要領(案) 5 令和8年秋の墨田区交通安全運動実施計画(案)		
会 議 概 要	1 開会 (1) 会議の録音について 各委員に対して、議事録作成のための録音について了承された。 (2) 配付資料の確認(5点) 上記配付資料のとおり 2 委員の紹介 配布の「墨田区交通安全対策協議会委員名簿」を確認いただくことで、委員の紹介とした。 3 会長(墨田区長)あいさつ 開会にあたっての挨拶があった。 4 議題 (1) 令和8年秋の墨田区交通安全運動実施要領(案)について (2) 令和8年秋の墨田区交通安全運動実施計画(案)について 各案について、事務局(土木管理課交通安全担当)から一括して説明を行った。 要領及び計画の内容については、各案のとおり決定した。 (意見・要望等) 【本所交通安全協会 田中会長】 墨田区を「上級ドライバー・上品運転者の町」にしたい。生活道路における法定速度、時速30km化はとても良いと思うが、区に対して、分かりやすい速度表示の整備、自転車用ヘルメットの着用促進・自転車ナビマークの整備、学校周辺での保護者・生徒参加の見守りボランティアをしていただきたい。 ⇒【天海 都市整備部長】 自転車のルール啓発やヘルメットの着用ということについて、まだヘルメットの着用がまだまだ進んでいないと感じている。交通ルールの啓発と合わせ、より一層、本所・向島両警察署連携し進めていきたいと考えている。自転車のナビマークをはじめとした自転車走行空間の整備に力を入れており、これまで区内の道路の約20キロを整備している。今年度も引き続き、同等またはそれ以上の数を入れていきたいと考えている。		

⇒【警視庁本所警察署 吉武交通課長】

道路交通法改正について、9月1日から、中央線や中央分離帯などで車線が分かれていない地域住民が日常的に利用する生活道路は、法定速度が時速60kmから30kmに引き下げられた。例外として、中央線や通行帯により車線が明確に分かれている道路や既に標識等で指定速度が決まっている道路は従来どおりの扱いとなる。道路交通法の改正については、警視庁ホームページにも掲載されており、「メールけいしちょう」等でも発信し、周知を図っていく。

【墨田区立小学校長会 中嶋会長】

学校では保護者向けメール等で交通安全や自転車用ヘルメットの着用を伝えている。行事等の場も活用して子どもたちに交通安全を学ばせていきたいと考えている。昨年度、学区内の狭い道路で児童が登校中に交通事故の被害に遭う事故があった。

横断歩道の視認性が悪く運転者の見落としが原因と考えられる。小学校周辺では、時速30km制限の周知と運転者の安全運転意識向上が特に重要だと考えている。

【墨田区立中学校長会 吉岡会長】

中学生の自転車用ヘルメットの着用は少ない現状となっている。まずは大人が見本を示すべきと考えている。田中会長が提案していただいたボランティア活動について具体的な内容を教えてほしい。

⇒【本所交通安全協会 田中会長】

朝の通学時間帯に当番制でボランティアによる見守り活動をしてほしい。具体的には、学校周辺の横断歩道などで先生と一緒に腕章を付け、旗振りをするなど生徒の登校を見守る活動を考えている。この活動により生徒の交通安全意識が向上し、高学年が低学年を見守る意識も育まれると期待している。警察の交通課交通総務係に事前連絡すれば説明に来てもらえ、事務局からは旗などの用具を借りることができる。活動は堅苦しく考える必要はなく、「おはよう」の挨拶だけでも効果があり、気持ちよく先生と一緒に参加してほしいと思っている。

⇒【教育委員会事務局 塩澤庶務課長】

教育委員会でも保護者向けのメール配信や登下校見守りに取り組んでおり、期間中も継続して対応する。田中会長の発言にあるボランティア活動については、風紀委員のようなイメージだと思うが、生徒参加型で早めに来て見守る取り組みも有効であると考えている。

【墨田区老人クラブ連合会 星野会長】

特に高齢者の事故が多いことについて自覚しなければいけない。様々な会議等の中できちんと交通規則を守ること、高齢者が事故の件数を多くしないこと、そういう自覚を持って生活するよう徹底したいと思っている。

(3) 交通安全対策全般について

【墨田区町会・自治会連合会 須藤会長】

水戸街道の東向島二丁目交差点付近では、変形した交差点構造により横断歩道が道路から外れた位置にあるため、歩行者や自転車が正規の横断歩道を使わず、停止線付近から直接道路を横断する危険な行為が常態化している。

特に高齢者や通勤者が信号を待たずに約2m幅の道路を横断し、夜間を中心に自

	動車事故で死亡者も発生している。周辺の建設工事の影響でさらに状況が悪化している。 対策として、交通安全週間だけでなく日常的にパトロール中の警察官による現地での注意・指導の強化をしていただきたい。また、横断歩道下部にある太い木が横断の妨げになっているため、この木の撤去により歩行者の適切な横断を促せる可能性がある。 ⇒【警視庁向島警察署 渡邊交通課長】 意見を真摯に受け止めて対応する。当該交差点に限らず、白バイやミニパトによる赤色灯点灯など重点的なパトロール活動を強化し、危険な横断をしている方を発見した際にはその都度注意喚起を推進していく。引き続き安全教育の場を設けて周知徹底を図っていくため、今後とも見守りと協力をお願いしたい。 ⇒【天海 都市整備部長】 木の状況等について現地を確認した上でどのような対応が可能かを検討していきたい。 5 事務連絡 第 11 次墨田区交通安全計画（令和 8 年度～令和 12 年度）の修正作業に対する御礼と今後の協力依頼を行った。 6 閉会
所 管 課	都市整備部土木管理課交通安全担当（内線：5034）